



中庭廻りの縁の張り立て



座敷南側濡れ縁の縁板の割付

1 主屋

中庭廻りの縁・座敷南側濡れ縁の補修

中庭廻りの縁は、台所側は雨漏りによる破損が大きく、縁框・縁板等すべて再用できなかった。残り具合の良い居間側の縁板も知ぎ木や樹脂等による補修が必要で、古材を合わせながら張り立てているので時間がかかっている。

座敷南側の濡れ縁は、縁板は、腐朽によりすべて再用不能であったが、手すり廻りの部材や縁葛の一部、腕木等は再用できた。現在は縁板の張り立てを行っている。



2 主屋

敷居の補修と取付

部屋境の敷居は、畳の敷き込み、建具の建て込みの工程に影響するので、取り付けを行っている。

溝の摩耗が大きい物が多く、木口の腐朽による傷み大きいものもある。また、建て起こし・不陸調整等により柱間が微妙に動いているので、長さが足りないものもある。このような補修を終えたものから順次取り付けを行っている。



3 主屋

大広間雨戸戸袋等の補修

大広間東面の板壁の補修・張り立て、雨戸戸袋・敷居の補修と組み上げが終了した。土間台所部の井戸屋形廻りの板壁の張り立ても終了したので、外部の板壁の張り立ては座敷部の東面を残すのみとなった。

大広間廻りの壁板・雨戸戸袋の破損はほとんどなかったのが概ね再用できたが、雨戸敷居の摩耗がどれも激しく、補修には時間がかかった。



4 表門 小舞の補修

表門は、軸部を持ち上げて、礎石の据え直し、土台の取り替えを行った。そのため土台上部の土壁を落とし、上屋のために小舞も一部切り取った。主屋の作業の合間に、小舞の補修を行った。傷みの大きい部分は、土壁を大ばらしにして保存し、窓台の補修を行い、小舞を新たにかけ直した。



5 内蔵 土壁破損箇所の補修

内蔵の板壁の補修が終わったので、漆喰壁の補修を始めた。漆喰塗り・中途・荒壁、各層の浮いた部分を落とし、必要に応じて樹脂(商品名:カマー)で補強した。現在、荒壁部分の補修を行っている。



5 内蔵 屋根瓦目地漆喰塗り

土壁等の乾燥の合間を見て、内蔵屋根の目地漆喰と鬼瓦の影盛を行っている。砂漆喰で成形し、後日漆喰で仕上げを行う予定である。